

1999年 8月25日

## 麴町税政連だより

(7) 発行人 麴町税理士政治連盟  
会長 飯野 紘  
幹事長 勝村 永司  
広報委員長 久野 幸一

麴町税政連は、3期6年に亘り会長を務められた宮川爽前会長から新たに飯野紘新会長にバトンがタッチされました。そこで今回は、両新旧会長に一言ごあいさついただきました。

### 飯野紘新会長・会長就任のあいさつ

毎日、暑い日が続きますが、会員の先生方にはお元気の事とお慶び申し上げます。

第21回麴町税政連定期総会で会長に選出されました飯野でございます。未熟な私にこの重責が担えるか不安を覚えますが、選出された以上全力を傾けて参りたいと考えます。

また、3期6年間の長い間、税政連の活動環境の激変の中にあつてその大任を果たされた宮川前会長、更には本総会で退任された役員の方々に心から感謝申し上げます。

さて、麴町税政連の活動は、国対にしる広報にしる他の税政連の活動に遜色のない活発な活動を続けて来ております。

しかしながら、会員の皆様と一体になって活動する機会が全くない状態で、私たちの活動を十分に理解されていないのが実情ではないかと思われまふ。

このため、税政連の加入率が暫減してきております。何とか加入会員の増加が期待できるように見える活動を続けて参りたいと考えております。

今まで、勝村幹事長を中心に、広報、国会対策、議員交流等活発に活動をして来た実績を踏まえ、新しい役員の方々の知恵を加味して、税理士法改正・規制緩和・税制改正に取り組みたいと思ひます。

現在、税理士を取り巻く問題の中で何が最重点の問題なのか、わたしたちは何をどうすべきなのか、大胆に考え・行動することから、次の方向が浮かび出ると考えます。

100点を狙うより取り敢えず40点を確保し、その後を考えることが大事です。

活動のご協力を会員皆様にお願ひしますときは、1年の総時間8760時間のうち4時間程度のものでありますので、是非参加して戴きたいと思ひます。

この2年間 宜しくお願ひ致します。

### 宮川爽前会長・会長退任のあいさつ

私は3期6年間、会長に就任し、役員のご協力と皆様方の暖かいご支援によりまして大過なく任期を終了しましたことを紙面をかりて厚く御礼申し上げます。

さて我々税理士にとつても重要な環境の変化が予想される規制緩和の推進につき愚考を述べて退任のごあいさつとします。

規制緩和は日本経済活性化のための重要な政策手段であると考えられております、この認

識は基本的には正しいものと考えられていますが、しかしこれが日本人の主導ではなくアメリカ人によって吹きこまれた規制緩和で、かつてアメリカがそうであったように生産的な経済活動が犠牲になり寄生的な投機活動が増えることを意味しております。

規制がなくなって得をするのは大企業だけであり、大企業は中小企業からの搾取がしやすくなるということに他なりません、日本には弱者を保護する仕組みがたくさんあります、それを放棄しようというのでしょうか、たとえば大店法の改変により大型スーパーがいくつも出店したために数多くの小さな商店が廃業しました。

弱者を保護する規制は大きな企業にとっては邪魔なだけであり、これが規制緩和の正体であります。

大手金融機関は欲高い高利貸になり下がり、最も早く最も高い収益を上げるところへ国民の預金やその他の金融資産を移動させ世界中の賭博場で自由に賭けられるようにするのがビッグバンの目的であります、日本人の貯めた1200兆円の金庫を外国の金融機関に開放することが日本経済にどれだけの損害をもたらすのか彼等の念頭にはないのでしょうか、グローバル化の意味は、ビジネスを国際展開したり、国境を越えて投資したり資本を移動したりすることではなく、グローバル化とは市場における競争力のことをいうのであります。

すべての規制を温存せよと主張しているわけではありません、政治的判断から撤廃せざるをえない規制もあるかもしれない、それはそれで外交というものであります。

ヨーロッパにはECがあります、日本はアジアの一員としてアジア経済圏の確立をすべきであります、「ルック・イースト」を掲げ欧米の価値観だけがすべてではないと自説を堂々と主張しているマレーシアのマハティール首相の方が日本人の政治家より巧みな交渉術を持っているとおもわれます。

これだけの日本をつくり上げた先人たちの知恵である規制をなんの再吟味もせず外圧に言われるまま捨て去ろうとしている日本の政策は多くの失業者を生み日本社会を崩壊させるものであります。

国民の孚の税理士制度を提唱する税政連は業務独占を前提とした論議の枠をこえ、納税者、中小企業者等、国民の孚の規制緩和論議を展開する必要があるとおもいます。

税政連は、税理士による 税理士のための 税理士の政治団体なのです。

## 会務報告（平成11年4月9日－8月10日）

### 1. 会議、会合報告

11. 5. 13 麴町税政連・第1回幹事会・麴町支部会館

1. 第21回定期総会提出議案について

2. 書面決議の内規制定について

11. 6. 1 麴町税政連・監事会・麴町支部会館

平成10年度の監査を行った。

11. 6. 23 麴町税政連・第1回常任幹事会・ホテルグランドパレス

第21回定期総会の運営について

11. 6. 23 麴町税政連・第21回定期総会・ホテルグランドパレス

審議事項

- 第1号議案 平成10年度運動経過報告承認の件
- 第2号議案 平成10年度収支決算承認の件
- 第3号議案 平成11年度運動方針(案)承認の件
- 第4号議案 平成11年度収支予算(案)承認の件
- 第5号議案 役員改選の件

会長	飯野 紘		
副会長	五月女 登・稲野辺 匡利・榎 總一郎 工藤 篤司・大萱生 隆・山本 剛		
幹事長	勝村 永司		
副幹事長	政策委員長	竹田 寛	幹事 政策委員 後藤 伸二
	組織委員長	福岡 武彦	小代 久美子
	国対委員長	紙谷 洋一	幹事 組織委員 西村 恵
	財務委員長	太田 伸弥	小野田 俊
	広報委員長	久野 幸一	幹事 国対委員 小川 富且
	選対委員長	宮武 一孝	富田 達蔵
			幹事 財務委員 畑 耕一
			植島美枝子
			幹事 広報委員 福永 順
			高山 温子
			幹事 選対委員 谷澤 修一
			永井 尚子

監事 中村 喜久造・小島 昇・伊東 稔博

11. 7. 2 都議会議員内田茂 東京の明日を語る会・赤坂プリンスホテル  
柿沼東京都政策広報室長とのパネルディスカッション  
国際都市に必要な機能と東京の現状・今後の取組みについて

11. 8. 10 麴町税政連・第2回幹事会・麴町支部会館

1. 東京税理士政治連盟への総務会構成員の推薦に関する件  
平成11年度よりの総務会構成員として大萱生隆副会長を推薦
2. 名誉会長・顧問・相談役・参与の委嘱に関する件  
委嘱内規該当者は次の通り

名誉会長	岡田光一郎		
顧問	桑原 裕・原田 実・渡辺 要一 宮川 爽		
相談役	岡田 輝彦・竹田 豊・後藤 光男 萩原 朋和・石塚 健一・前田 勇 山下 文義・関根 清一・富田 米造 坂本 英雄・内藤 利文・尾澤 武		

7

参与 山下 幹男  
浅見 哲・関口 健二・深澤 廣  
鈴木 雅博・佐藤 直美・伊香賀照行  
東田 哲・渡辺 洋次・松村 昭子  
横山 博行・倉若 弘・大澤 義平  
大橋正一朗・新保 泰雄・池田 政明

その他

(1) 平成11年7月1日現在の実会員数報告

支部会員数	559名
本連盟会員数	319名
組織率	57.1%

## 1. 事務報告（麴町税政連）

11. 4. 9 東京税政連より麴町税政連への事務連絡  
1. 単位税政連で独自に発行する「推薦状」用紙の配布について  
2. 住所地別名簿の配布について
11. 4. 15 麴町税政連より麴町支部会員各位へ発送  
平成11年度税政連会費納入のお願い文書発送
11. 4. 15 麴町税政連より麴町税理士会へ報告  
麴町税政連の活動報告（5）
11. 4. 27 東京税政連より麴町税政連への事務連絡  
統一地方選挙における本連盟推薦候補4名の選挙結果について
11. 6. 28 麴町税政連より自治大臣、東京都選挙管理委員会へ報告  
麴町税政連の代表者異動届提出
11. 7. 13 麴町税政連より東京税政連へ報告  
平成11年7月1日現在の実会員数の報告 319名  
支部会員数 559名  
組織率 57.1%
- 議員等との懇談会および後援会活動等の報告（10. 7－11. 6）  
11. 2. 12 衆議院議員海江田万里との国政報告会及び懇親会  
役員の異動と銀行口座の変更に関する連絡票  
会長、幹事長、財務委員長、選管会計責任者について記載

税政連は会員の会費により運営されています。税政連の会費納入にご助力ねがいます。

（麴町税政連だよりの発行は麴町税政連の費用で賄われています。）